

# 福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞  
TBSラジオ『メイコのいきいきモーニング』取材紹介施設

介護保険事業者指定 一七〇四〇一三三一  
350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉事務局

☎049・230・1111(FAX:30・1112)

## ご家族の声

### 福音の園で落ち着きました

入所させていただいている義母は、六人弟妹の一番上で育ちました。今でもすぐ下の弟が栃木県から不自由な身体をおして「福音の園」に来てくれたり、千葉県に住んでいる二人の妹も、よく来てくれたりと、大変ありがたく思っております。そんな義母も八三歳になります。自分の妹も判らない時もあります。顔色や肌ツヤは良く、義母の妹達も「こんな良いところに入れてもらって姉は幸せだね。」と来る度に言っているのです。女房と「本当にこの施設に入れていただいて良かったね。」と話しております。

一昨年には、もつと大きな施設に入所できることになり、正直、悩みましたが、最終的には「親身になってお世話をしていただける福音の園。」というところで落ち着きました。「福音の園」はそういう温かみのあるところですので、ホーム長さんや職員の皆様方には感謝の気持ちでいっぱいです。  
(K・I)

TBSラジオ他10局ネット番組

## 『メイコのいきいきモーニング』に

### 当園・園芸療法活動 紹介される!

先月、七月二二日(日)、朝七時四〇分、当園「癒しの園芸療法活動」風景へ六月二七日(水)取材が、インタビュ構成で放送 紹介されました。同番組のホームページは、

<http://www.tbs.co.jp/radio/format/meiko.html>

## 運営理念・心に触れる優しい支援の実践

### 自然な笑顔を撮りたくて

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤卓巳  
毎月、本誌「福音の園だより」と共に、前月活動風景をスナップ写真にしてお届けしております。毎月、写真編集しながら心残りなことが一つある。アップになった豊かな表情や素敵な笑顔のご利用者を紹介したいところ、プライバシー(個人情報)の保護に関する法律からボツになる写真が多い事。市中の写真館では、例えば、「七五三写真のためにプロがテクニクを駆使し一瞬のシャッターチャンスをはささない。ここでは写真館と違い、「笑って!」と注文せず、普段の日常生活の中から溢れ出る、自然な笑顔を撮るように心掛けています。◎入居時以来のスナップ写真を送っていただき、本当にありがとうございます。写真に写っている母の笑顔を見ると、二年二ヶ月間のホームでの生活が本当に楽しく充実したものであったのだと、感謝の気持ちでいっぱいになりました。(中略 本当にありがたかったです。(K・M)

◎面会に参りますと、笑顔と時空をこえた会話を楽しみ、それをお土産に札幌に帰ってきます。若い時は大変な時代だったせいか、愚痴っぽかった母ですが、今はきつと今までの中で一番幸福な時なのでしょうが笑わせてくれ、また家族が一体となって働き暮らした昔を、漫然と暮らしがちな子供に思い出させてくれます。段々と若い頃を通りこして、子供のようになっているのを見ると年を重ねるのも楽しくなってくるように思えるから不思議です。

(中略)グループホームの皆様は、笑顔で暮らさせていただいたのまじゅう、深く感謝致しておきます。(H・K)

右記ご家族様お便りに共通しているのは「母の笑顔」。この笑顔は「心に触れる優しい支援の実践」が源になっていると自負しております。

### 「ご利用者にとって最大の「環境」はスタッフ

先月の全職員研修で確認したのは、周囲の環境もさることながら「ご利用者にとって、最大の「環境」は我々スタッフである」こと。スタッフによる適切な対応なら、「安心・こころよさ・リラックス・その人らしさの開花」が見て取られ、不適切な対応なら、「不安・不快・ストレス・無為・その人らしさの喪失・作られた障害」が表出する。写真館の方にはお叱りを受けるかもしれない。撮影機材が並ぶスタジオで、テクニクを駆使し作為的に作られるポーズや笑顔ではない。介護の切り札であるグループホームケアによる快適な生活と、スタッフという最大の環境から醸し出される、安心しリラククスした普段の生活の中で、見せて下さる素敵な瞬間を撮らせていただいている。介護がアート(芸術)になる瞬間でもある。

## 御礼

笹 竹(七夕用) K・K様(川越市小中居  
スイートコーン 富樫 農園様(北海道共和町)